



2011年1月12日

VOL. 50

とっとり・グローバルウオッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

海外展示会視察報告 巨大自動車市場 in 中国広州

このたび、世界一の自動車販売台数を記録する中国市場に、鳥取や岡山など中国5県の自動車関連部品企業15社の海外販路開拓を支援するため、トヨタ、ホンダ、日産といった日系3大メーカーが集中する中国広州で開催された「JAPPE 日系自動車部品調達販売展示会（12月21～23日）」に5県財団が連携し共同出展した。それに併せ、広汽トヨタ、ホンダ自動車(中国)ならびにBYDを視察したので報告する。

■鳥取県企業2社が中国市場に挑戦

当財団によるJAPPE出展は、2008年の単独出展に続き2回目で、中国地方5財団で合同の出展は初めての試みである。鳥取からは、日本セラミック(株)と(株)日本マイクロシステムの2社が参加され、約400ブース規模の大規模展示会で商談が行なわれた。1日の来場者は約4千人と少し物足りなく成果が心配されたが、有力な日系メーカーや大手ローカルメーカー、日本の出展企業などがブースにこられ、情報交換や名刺交換ができたとの成果をいただいた。

また、隣の会場では50万人来場規模の広州モーターショーが開催されており、10の会場に890台の自動車が表示された。この自動車展示の規模にも驚かされたが、中国メーカー企業の最新の車やスタイルの良いモデルを起用した演出、あふれる人だかりで今の中国の自動車経済の勢いを直接感じることができた。

展示会の会期前後には、トヨタ、ホンダならびにBYDの工場を視察した。

■トヨタ広汽

トヨタ広汽は、広州市内から約30分の場所にあり、資本比率がトヨタ50%・広汽50%の合弁の会社で、187万㎡の広い敷地内に約7000人の従業員がカムリなど4車種、年間26万台を生産する組立工場である。自動化率は56%（日本のラインは96%）ということであったが、第1工場の組立ラインは最新鋭の機械も導入された非常に整理されたラインで、一緒に見学した企業からは、日本のラインと変わらないとの感想が聞かれたほどである。

■ホンダ工場

次に見学したホンダ工場は広州の輸出加工区にあり、ヨーロッパ向けJAZZ（フィット）を組立生産している。資本比率はホンダ65%、広汽25%、東風10%の合弁で、約900名の従業員が年間約6万台を生産されている。この輸出加工区は、中国政府が輸出促進の一環で全国50カ所以上に設置する特区の一つで、2003年の会社設立後5年間、税金優遇の恩恵を受けられたとの事。工場の自動化率は40%で、生産台数が少ないこともあり、日本で3人が行う組立作業を1人で対応されている。

トヨタ、ホンダで共通していたことは

目次

海外展示会視察報告	P 1 P 2
最新の上海 ～現地レポート～ 34	P 2
現地発！ 台湾月刊レポート 43	P 3 P 4
海外港湾視察報告	P 4
お知らせ	P 5



JAPPE鳥取県企業ブース



トヨタ広汽視察の様子

<次頁へ続く>

会社の基本方針は日本の工場と同じであることと、ほとんどの部品は日系企業から調達していること、社員が24歳前後と非常に若く、両社とも中国の若者は日本の若者よりもまじめで勤勉といっておられたことだ。

■BYD

BYDでは、広州から約3時間離れた深センの坪山本社内にある展示施設を見学した。BYDは中国に11の工場をもつ全従業員20万人の巨大企業である。坪山工場は社員3万人の自動車組立生産工場であるが、展示施設にはBYDが開発、生産するバッテリーや太陽光、携帯、液晶モジュール、プラグインハイブリッドエンジン、半



広州モーターショーの様子

導体や表面加工技術など、自動車展示場では政府にも納入された電気自動車や、中国政府の補助金を活用し100万円で購入できるPHDも展示されていた。BYDの技術、商品を見ると日系メーカーが特に注目する中国企業であることが判る。

最後に、広州へ行くまでは、中国はスモッグで街が覆われていると聞きマスク持参で乗り込んだが、滞在期間中に、青空や夕日もみられ少し拍子抜けした。広州アジア大会の前に中国政府が工場の排気制限に関する法律を施行したためだと、広州の日系企業の方からお聞きしたが、これらからも判るように「中国は、やるのがとにかく早い国」という印象である。



BYDの電気自動車

【(財)鳥取県産業振興機構企業支援部 細本】

最新上海 ～現地レポート～ 34

2011年、雇用問題を取り巻く諸問題

上海に本拠を構え、万博の公式スポンサーも務めた大手航空会社である中国東方航空によると、昨年の純利益が前年比10倍の54億元（約650億円）という異例の成長率を記録したようだ。昨年は、上海万博が開催され、国内外から多くの観光客が上海・中国を訪れたことがこのデータからも明らかである。

ところで、2009年リーマンショックから端を発した金融危機以降、世界経済が低迷し、輸出黒字により経済発展を遂げてきた「世界の工場・中国」としては、2010年において外需から内需への大きな政策転換が求められた年であった。このため、上海では企業への各種減税や賃上げ凍結が見送られている中で、経済が回復するにつれて、急激なインフレが発生し各地での労働争議が多発した。そこで、2011年は企業に対する労務関連での様々な圧力が高まっている。

「上海市従業員代表大会条例
(2010年12月23日公布、2011年5月1日施行)」

本条例により、国有企業以外の民間企業においても従業員が100名以上の場合、従業員代表大会の設置を義務付けた。同大会は労働条件、福利厚生、研修制度、組織改革に伴う人員配置などの会社の根幹にかかわる項目について審議及び承認する権限を持つことが明記されている。これにより従業員の発言権が拡大し、賃上げメカニズムが確立につながる。同大会の構成員についても制限

され、中間管理職以上の幹部が構成員の2割未満に抑えられなければならない、派遣労働者についても構成員資格を有すると認められた。

■賃上げ動向

2011年1月1日から北京市の最低賃金が960元から1160元に引き上げられる。各地の最低賃金を比較してみると上海1120元、深セン1100元、広州1030元で、現時点で北京が最高水準である。しかし、今後各地でも同様あるいはこれ以上の大幅な賃上げが始まると予想される。2010年のCPI（消費者物価指数）上昇率は平均約4%で、特に食品における物価上昇が激しかったことも大幅な賃上げの要因となっている。

■外国人の社会保険加入義務化

今年7月1日から外国人の公的社会保険加入が義務付けられる。保険料の負担率や支給条件などの具体的な運用内容はまだ明らかになっていないが、これにより企業の人件費コスト増加は不可避である。

既に、労働コストの面において中国は他国に比べてアドバンテージがあるとは言いがたい時代であり、今後更なる質の高い労働力の確保とシステム転換が求められている。

【(株)チャイナワーク 孫】

現地発！台湾月刊レポート 43

中華民国建国100年。台湾の民族構成と歴史映画。

明けましておめでとうございます。鳥取県は、新年早々大雪に見舞われ、大変に心配している。今年は、台湾にとって1912年1月1日の孫文による中華民国臨時政府樹立から建国100年記念となり、おめでたい年となっている。昨年までは「民国99年」或いは「99年」という食品ラベルに驚いた方も多と思うが、今年からは「民国100年」或いは「100年」という表記になるので留意されたい。二桁から三桁表記変更に伴うコンピュータ問題も噂されていたが、現在のところ何も発生していないのは幸いである。今回は、建国100年ということもあり台湾の民族構成、特に原住民のこと、さらに台湾映画と関連した話を書きたい。

■映画と政治

「ビビアン・スー、中国の干渉で映画祭グリーンカーペットに参加できず悔し涙」2010年10月13日、東京国際映画祭開幕式にて、ビビアン・スーらが登場しなかった事件を覚えているだろうか。「台湾のメディア関係者によると、開始直前になって、1つの中国を標榜する中国代表団から、「台湾」の国名でグリーンカーペットを歩かせるわけにいかないといった主旨のクレームが入った模様。「台湾」の前に「中国」という国名を入れ、「中国台湾」と表記するなら問題ないと言われたそうだが、台湾側がこれを拒否。その後も、主宰者に当たる同映画祭関係者も含めての話し合いが続いたが、その間もグリーンカーペットイベントは進行。最終的には結論が出ず、時間切れとなりカーペット上を歩くことができなかったようだ。」

その際「ジュリエット」「モンガに散る」という2本の台湾映画関係者が出席するはずだった。「ジュリエット」ではビビアンが主演女優を演じていたが、コメントを出し「本当に残念でした。ビビアンも一生懸命お化粧をして、きれいに待っていたんです。映画ってというのは長い時間をかけてみんなが努力して作るもの。映画祭はそのパーティーで、なのに映画と関係ないことで台無しになるのは本当に残念です」と話し始めるとビビアンの表情はみるみる曇り、目に涙を浮かべ始めた。さらに涙が溢れ出すと彼女は客席に背を向け、肩を震わせていた、とのこと。中台間の経済統合は加速しているものの、文化問題に政治が絡むと、一筋縄ではいかないことが明白になった事件であった。なんともやりきれない気持ちになる。*注1、*注2

■台湾原住民について

ところで、ビビアン・スーは台湾原住民である。原住民でもタイヤル族出身。「原住民」と言うと、日本では差別用語と勘違いされるが、台湾では自身たちが誇りを持って言う言葉となりつつある。

台湾は複雑な民族構成で大きく分けると、戦前から台湾にいた本省人、戦後、中共と戦争をして台湾へ逃げ落ちてきた外省人。さらに元から台湾に住んでいた原住民で構成される。本省人はさらに、福建省系の漢族、李登

輝氏で有名な客家人、それに原住民との混血などが含まれる。さらに細かく原住民は何部族あるかご存知であろうか。九族文化村に行ったことがある方なら九族と思われるかもしれない。しかし九族に分類したのは戦前の日本人学者であり、現在、台湾政府見解としては、14部族を承認しているのである。また、私たちは違う、として声を上げている部族を入れると全部で30近い部族があるという説もある。

戦前、日本人から原住民は高砂族として一括りにされていた。別名“首狩り族”という名前を知っている方もいると思う。私も原住民部落山中で本物の頭が並んでいるのを見たときは首元にふっと冷たい風が吹いた。台湾の人口は、2,300万人。原住民は、50万人強であるから比率は、2%に過ぎない。戦後も原住民は低い位置に置かれ、被差別、あるいは保護の対象として補助金生活を受け自活できない状況になっていたのも事実である。原



原住民の酒“小米酒”
甘酸っぱい。

住民の評判は「時間にだらしない」「常に酔っ払っている」など否定的な意見が多いのだが、台湾野球選手など「身体能力が高い」「音楽的センスに優れている」等の意見もある。私もある原住民の老人を最初に見たときは身なりにギョッとしたが、話すと一年のうち三ヶ月はパリ、ウィーン等で合唱団公演をしていると聞かされ、国際的教養人であり先入観で人を見てはいけないと思ったものだ。

さて昨年末、エポックメイキングな会が台北で催された。「台北原民(原住民)ロータリークラブ」の発足である。台湾経済界で成功した人たちが集まった原住民の地位向上を図るエリート集団である。28人8部族で構成され、原住民の古い歴史の紹介、舞踊等のお披露目があり台湾政財界から大勢の人が集まり盛大な会となった。

中でもひと際目を引いたのが「張琇雅」さん。ビビアン・スーの母であった。篤志家として知られている。初めてお会いしたのだが人を引きつけるオーラを持ち、原住民の子供たちにしっかりとした教育を、というスローガンのもと積極的に活動している姿には感心するばかり



台北原民(原住民)ロータリークラブ

であった。このような多民族国家が、柔軟な運営をしていくと、軋轢も生むであろう一方、多彩な文化、発展もあるのではないかとふと感じざるを得なかった。

ちなみにもう一本の映画「モンガに散る」であるが、血塗られた凄まじい映画で、昨年の台湾では、高い評価を得た。日本では昨年末から公開されている。ただし邦題には違和感がある。台湾映画だからといって、いい加減な名前をつけないでほしかった。台湾語に詳しい友人によると、原題の「艋舺」のローマ字表記は、Bangkah（バンカ）である。また現在、台北市で蛇の夜市で有名な華西街観光夜市や龍山寺がある「萬華」は、もともと「艋舺」の読みであるバンカから日本語「万華」に転化したもの。原典に当たらないとミスをしてしまう例であろう。「萬華」は台北で最も早くから発展したエリア。一方、つい最近まで青線、赤線があった街としても有名。暴力に支配される街でもあった。余談であるが台湾では今年度、政府として売春ビジネスを合法化する予定

らしい。最近では治安がよくなったとされた「萬華」だが、この法改正により環境の変化があるかもしれない。旅行の際は、注意をされたい。*注3

さて私ごとではあるが、ビビアン・スー主演女優の霧社事件を題材とした歴史抗日映画「賽徳克巴萊（セデック・バレ）」にチョイ役で出演した。カットされる危険性が高いのだが、ひょんなところで原住民と関わる機会が多くなる一年となりそうだ。台湾にて人間関係を広げているので、皆様のご要望に幅広く関わられると思う。本年もよろしくお願いたします。

《出典》

*注1 MOVIE Collection HP

*注2 excite news HP

*注3 Newsweek HP

【榎スナーク 富田】

海外港湾視察報告

釜山新港・仁川港

中村勝治会長（境港市長）を団長とする7名は、韓国政府が将来の物流拠点としての国際的地位の更なる向上のため現在整備中の釜山新港、ならびに黄海圏最高の交流拠点港湾としての発展を目指す仁川港の視察を実施したので、報告する。

■韓進海運 新港湾視察訪問・釜山新港視察

釜山港の西約25kmの加徳島周辺に整備中の「釜山新港」は、完成後は岸壁総延長約10km（30バース）となり、年間荷役能力1000万TEU以上の機能を有する最先端コンテナターミナルとなる予定である。一行は、既に供用開始している韓進海運新港湾視察訪問のコンテナターミナルを訪問し同社代表理事より説明を受けた。

- ・コンテナヤード内のコンテナの流れは全てコンピュータ管理。世界初の水平自動化ヤードシステムの導入と相まって24時間体制での荷役を提供し作業効率が飛躍的に向上。
- ・ガントリークレーンは、テンダム方式（40fコンテナ2本または20fコンテナ4本を同時に揚げ積み可能）の採用により荷役時間を大幅に削減。また最大100トンの吊り上げ能力を持つクレーンも設置し、様々なバラ貨物にも柔軟に対応出来る体制を提供。
- ・これらクレーンは遠隔操作により1人で6基の対応が可能。

最先端荷役システムによる生産性向上に加え、様々な面でコストダウンを図りながら、物流費の削減に取り組まれていることを実感した。

■仁川港湾公社・仁川港視察

仁川港湾公社（IPA）を訪問した一行は、同公社崔運営計画室長より、仁川国際空港やソウル市に近く、複合物流輸送が可能といった仁川港の特徴について、さら

に環黄海圏物流の中心都市を目標に、2020年までに松島国際都市南端に建設計画（合計30バース、港湾背後敷地187万坪、年間2,700万トンの荷役能力）のある仁川新港についての説明を受けた。

仁川市は昨年4月、神戸市と姉妹都市提携を締結、両港間の貨物量増加を見据えた動きもあるため、仁川港ならびに仁川新港の今後の動きは気になるところである。

その後仁川港では、最大10mにも及ぶ仁川港の潮の干満差に対処するために建設された開門（水門）を視察。この開門により、波を立てず、常に一定の水深を保つことが出来、自動車や精密機器などの荷役に最適な条件を備えることが出来るとのこと。

今回の視察により、韓国政府が港湾政策、国際物流の進展にかなり重点をおいていることを改めて強く感じるとともに、北東アジアゲートウェイとして境港が発展していくためには、世界各地と繋がっている既存航路をより一層強固なものにしていく必要があると実感した。



釜山新港・韓進ターミナル

お知らせ

「外国企業と商談する前に準備すべきこと・心構え」(仮)のご案内

本セミナーでは、外国企業と商談する前に準備すべきこと・心構え等をご理解頂くため、効果的なPR・プレゼン、準備すべき企業概要や商品概要等の資料作成(英文)等についてお話しします。

- ★日時：2011年1月21日(金)
14:00~16:00
- ★会場：松江東急イン 2Fカメラリア
- ★講師：野本氏、古田氏の2名
(ジェットロ農林水産部・市場開拓コーディネーター)
- ★参加費：無料
- ★定員：40名
- ★申込締切：2011年1月19日(水)
- ★問合せ、申込先：
ジェットロ松江
TEL:0852-27-3121

ジェットロ 平成23年度「地域間交流支援(RIT)事業」新規案件募集

ジェットロは平成23年度の地域間交流支援プログラムの募集を開始します。同プログラムは、優れた専門性や技術を持ちながらも、これまで国際市場に進出してこなかった中小企業群に対し、ジェットロの持つ海外情報・ネットワークを駆使し、海外の産業集積地との交流を支援するものです。ジェットロの有する海外ネットワークをフルに活用いただけるまたとないチャンスですので、皆様奮ってご応募ください。

- ★応募対象団体：地場産業を代表できる組織であり、メンバーの3分の2以上が中小企業であること
(1企業では申請できません)
- ★問合せ、申込先：
ジェットロ鳥取
TEL:0857-52-4335

「食品輸出商談会in山陰」参加者募集のご案内

ジェットロは日本産農林水産物・食品の海外への輸出促進に向けた活動の一環として、海外の有力バイヤーを招き、商談会を実施します。自社で海外の見本市に出展するのに比べ、はるかに安いコストで世界各国のバイヤーと商談を行える貴重な機会です。

- ★日時：2011年3月7日(月)
10:00~17:00
- *3月6日には別会場で試食・交流会があります。
- ★会場：松江東急イン 2Fカメラリア
- ★参加費：無料
- ★定員：30社程度
- ★申込締切：2011年1月19日(水)
- ★問合せ、申込先：
ジェットロ松江
TEL:0852-27-3121

編集後記

年末年始を米国フロリダ州で過ごしました。寒い日本を抜け出し温暖な気候を求めて行ったのですが、アメリカ東部を襲った記録的な寒波は南部フロリダ州にまで及び、ついには観測史上最低気温を更新しました。まさかフロリダ州で、コートにマフラーを身につけるとは思いもしませんでした。しかし、北東部のニューヨークやシカゴでは被害が更に深刻で、吹雪のため空港や機内に何十時間も足止めされた人が大勢いたとのこと。同時期には、鳥取でも記録的な大雪のため、“列車で年越し”“1000台の車が立ち往生”がニュースになりました。

夏の酷暑、冬の大雪など、異常気象が世界各地で年々顕著になっており、“環境保護”意識を更に高める必要があることを実感した正月でした。
【zao】

本誌『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでメールでお気軽にお寄せください。また、受信希望(無料)の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：(財)鳥取県産業振興機構 企業支援部
海外支援グループ(担当：早川)

E-mail: kaigai@toriton.or.jp
TEL: 0857-52-6703 FAX: 0857-52-6782



とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

- (財)鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ
TEL 0857-52-6703
- ジェットロ鳥取貿易情報センター
TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

- (株)さかいみなど貿易センター
TEL 0859-47-3900
- 境港貿易振興会
TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

- 境港管理組合港湾管理委員会事務局
TEL 0859-42-3705
- ジェットロ貿易相談デスク
TEL 0859-45-2203